

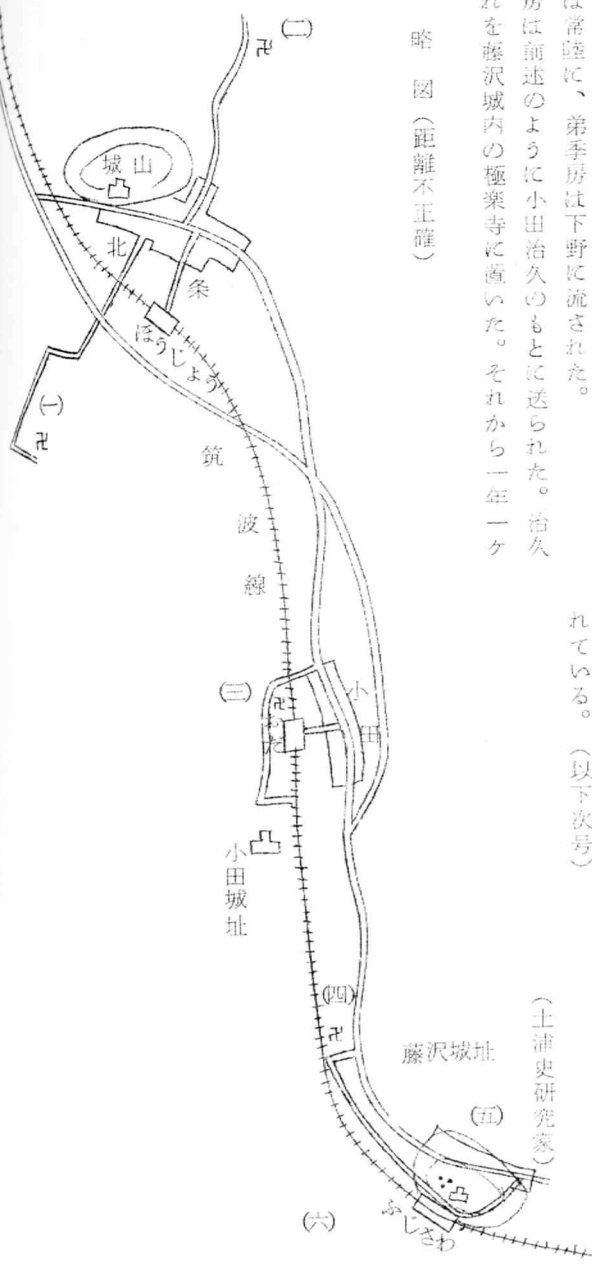
年余ここに滞在した。

(6) 藤原藤房髮塔塚

新治郡新治村藤沢城内にある。元弘の変のとき笠置山を北条高時に陥入れられた後醍醐天皇は藤原藤房、季房兄弟ら数名の従者を従い楠木正成の赤坂城をさして落ち行つたが、途中高時の兵に捕えられ天皇は隠岐島に、藤房は常陸に、弟季房は下野に流された。

藤房は前述のように小田治久のもとに送られた。治久はこれを藤沢城内の極楽寺に置いた。それから一年一ヶ月、建武中興成って、京都に召し還され再び側近に奉仕することになったが、中興の政治は奸悪な側近のさん言など入り乱れ為に藤房らの天皇への諫言も入れられず、藤房は出家遁世して行方をくらましてしまった。髮塔塚は、都に帰るとき、一説には出家遁世のとき、自分の髪を家臣の末栖氏に託したものを葬ったものと伝えられている。(以下次号)

略 図 (距離不正確)



(土浦史研究家)